

富士商事

Business Report

FUJI ビジネスレポート

第47期

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

夢見る人に次々と。



ヒト味違う



“オモシロ”さ！

 株式会社 藤商事


(証券コード 6257)

稼働力を高めつつ、 新たな流行を創造します。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

藤商事は、コーポレートスローガン「ヒト味違う“オモシロさ”！」を追求し、オリジナリティあふれる遊技機を次々と創造してきました。これまでの成長をさらに加速させるためにも、企画力・開発力の強化を継続して推進していきます。

株主の皆様におかれましては、より一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

市場動向と平成24年3月期の総括

Q1 重点取り組みを含め、
当期の総括をお願いします。

A1 新機種の創り込みを強化し、
増収増益を達成しました。

当業界は、パチスロ遊技機の人気回復基調にあります。パチンコホール様の経営環境は依然として厳しい状況にあり、新機種の導入は集客・稼働の見込める機種に絞り込む傾向が強まっています。

こうした状況のなか、当社は、現場に最も近い営業スタッフの意見を積極的に採り入れる「お客様視点」のモノづくりを推進しました。開発部門・営業部門が連携して、近年発売した機種の稼働不振要因の洗い出し・除去を徹底して行い、演出方法やゲーム構成、スペックなど、あらゆる角度から創り込みを強化いたしました。特に、ホラーという新たなジャンルを開拓した「CRリング 呪いの7日間」

業績ハイライト

販売台数 **137,600** 台 (対前年同期比 63,700台増)
(パチンコ遊技機・パチスロ遊技機合計)

売上高 **43,027** 百万円 (対前年同期比 81.5%増)

営業利益 **7,295** 百万円 (前年同期は営業損失 502百万円)

経常利益 **7,328** 百万円 (前年同期は経常損失 388百万円)

当期純利益 **4,087** 百万円 (前年同期は当期純損失 738百万円)

と「CR地獄少女」は、ホール様から一定以上の評価を得ることができ、数多くの固定ファンを獲得しました。著作権の持ち味を活かしたタイアップ戦略にも力を注ぎ、「CRゲゲゲの鬼太郎 妖怪頂上決戦」や「CR RAVE エンドレスバトル」といったヒット機種を生み出しています。対処すべき課題を一つひとつ改善してきた結果、すべての発売機種で当初の計画を上回る販売台数となりました。それに伴い、売上高・各利益とも大幅な増収増益を達成しています。

藤商事の強みと今後の展開

Q2 稼働力の向上を見据えた
今後の成長戦略を教えてください。

A2 チャレンジ精神を胸に、
3つの重点課題を完遂します。

当社の強みは「とにかくやってみる」というチャレンジ精神が企業風土として根付いていることです。パチンコ・パチスロ両遊技機は、スペックの多様化が急速に進み、新しいゲーム性を備えた機種が次々と誕生しています。時代のニーズを捉え、先取りしていくためには、挑戦する気持ちが何よりも重要であり、「他社との差別化」「創り方の差別化」につながると確信しています。

そのような考え方を出発点に、稼働力の向上を見据えた3つの重点課題を設定しました。1つ目は、稼働力の要素を引き続き追求すること。ファンの皆様は常に新しい何かを求めています。オドロキのある新規性の発掘とともに、「何度打っても飽きない、楽しい」といった記憶に残る演出を創り込み、商品性を高めていく考えです。2つ目は、「藤商事は違うな」と言われるような独自性を追求し、新たな流行を創造していくことです。流行に追随するのではなく、今までになかった、誰も気づかなかった新ジャンルを切り開いていきたいと思えます。3つ目は、ファンの皆様

平成24年3月期の主な販売機種



が楽しめる遊技機の提供を通じて、販売計画を着実に達成し、利益を安定的に確保できる体制を構築していきます。

まずは、次期の特徴的な販売戦略として、新本体枠「シャイニングウォール」を採用した第1弾機種「CR哭きの竜 天運」とパチスロ遊技機「パチスロ天 天和通りの快男児」を5月に同時発売しました。ホール様の入れ替えニーズにマッチしたタイミングで投入し、販売活動は順調に進んでいます。

当社は、中期的目標として掲げた「年間販売台数30万台」に向けて、これからも「オモシロさ」にこだわるモノづくりを展開し、ブランド力の構築と同時に、上位メーカーグループとしての地位確立を実現します。

株主還元

Q3 配当施策について
お聞かせください。

A3 配当金については、継続した
配当を基本方針としています。

当社は、企業価値の向上とともに、株主の皆様へ適正な利益還元を行い、信頼される企業を目指しております。

当事業年度における配当につきましては、継続した配当方針に基づき、期末の配当金は当初の予定通り、1株あたり2,250円とし、通期で4,500円とさせていただきます。

今後とも、株主の皆様のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成25年3月期の3つの重点課題

稼働力の要素を追求
新規性のあるアイデア発掘や演出の創り込み

新たな流行を創り出す
ヒット機種の実現
新たなジャンルの確立や独自性の追求

販売計画の着実な達成
パチンコファンが楽しめる遊技機を提供

Kunio Matsumoto

代表取締役社長

松元 邦夫

Close Up
当期発売機種

ヒット機種の舞台裏

大人気ホラー映画をモチーフにした「CRリング 呪いの7日間」(平成23年7月発売)。
ヒットを支えた現場の取り組みをレポートします。

CRリング

呪いの7日間

©1998「リング」「らせん」制作委員会

貞子再び。

「ヒット味違う“恐ろしさ”」、ここに誕生！ オリジナルストーリー×推測不能の恐怖演出



©1998「リング」「らせん」制作委員会

販売台数
42,800台

開発部
商品企画担当

ファンの期待に応える、究極の怖さを徹底的に追求しています。

初代リングの登場から、5年の時が経過。リング復活の背景には「ファンの声」がありました。多くのファンの皆様が、後継機種の発売を待ち望んでいたのです。掲げた目標は、前作を凌駕する商品性を生み出し、今までにない「ホラージャンル」を確立すること。「遊技者がどのように感じるか」をつねにイメージしながら企画を組み立て、「貞子」「呪いの7日間」という映画のキーワードとスペックを巧みにリンクさせることで、究極の怖さを徹底的に追求しました。ジワジワと迫ってくる恐怖、突然訪れる恐怖といった、人の感情・心理に起伏を与えるような新機種を今後も作り続けていきます。



開発部
メカ設計担当

突然落ちる役物で、恐怖に磨きをかけています。

最もこだわったのは、恐怖と驚きを同時に与えるようなギミックを実現すること。大きな物が目の前に突然現れることが効果的であると考え、「呪いの手」役物を落下させるというアイデアに辿り着きました。また、インパクトを高めるため、業界最速の動きにも力を注ぎました。完成までの道のりは、試行錯誤の連続でしたが、「手が落ちてきた瞬間に、お客様が声を出して驚いていた」という話を営業スタッフから聞いたときは、本当にうれしかったですね。今までにないホラーパチンコの恐怖をぜひ、楽しんでください。

営業戦略部

機種の魅力を武器に、自信をもって営業にあたりました。

本機種は、今までにない本格派ホラーコンテンツです。予測できない演出と、目を離せない緊張感が一番の魅力となっています。営業担当としては、開発部とともに「怖さ」を作り上げてきたこと。そして、前作が「ホラーは稼働しない」というマイナスイメージを払拭し、ご導入いただいたホール様から高い評価を受けていたこと。この2つにより自信を持って営業を行うことができました。これからも、ファンの皆様の期待に応えられるヒット味違うオモシロさを提供していきたいと思っています。



Main Lineup

稼働力の向上でV字回復を実現!!

当期の主な
発売機種

新演出満載の妖怪バトル!

パチンコでしか見ることのできない現代文明と鬼太郎の世界観を共存させた新演出が満載。歴代シリーズ最大ボリュームで作り上げた「ヒト味違う」バトルパチンコとなっています。



©水木プロ

平成23年4月発売
PACHINKO

販売台数
26,800台

新たな「地獄少女」誕生!

第一期～三期の自家キャスト・声優たちが、本機種のために書き下ろされたオリジナルストーリーと新曲で、新たな「地獄少女」をパチンコとして演出。「ヒト味違う」ミステリーホラーアニメパチンコとして人気を博しています。



©地獄少女プロジェクト/スカーヴェルシオン・アニメックス
©地獄少女プロジェクト/三鼎製作委員会
The font used on this product is provided by Hakuosyuu Fonts co.,Ltd.

平成23年10月発売
PACHINKO

販売台数
15,600台

大冒険パチンコ登場!

主人公「ハル」を中心とした、仲間との「絆」を描いた原作の世界観を再現。「絆」をテーマにした演出を機械の随所に搭載した「ヒト味違う」冒険ファンタジーの世界が好評です。



©真島ヒロ/講談社

平成24年2月発売
PACHINKO

販売台数
25,500台

最新機種

新本体枠を 採用した 麻雀パチンコ!



人気麻雀漫画が新本体枠「シャイニングウォール」で華麗に登場!原作を活かした演出だけではなく、オリジナルキャラクターとの対戦やプレイヤー参加型演出「ツモ牌チャンス」など、多数の演出を搭載。作品の魅力とパチンコの楽しさが融合した「ヒト味違う」麻雀パチンコとなっています。



©「天の竜」能條純一/竹書房

平成24年5月発売
PACHINKO



Financial Highlights 業績ハイライト

財務の詳細は当社ホームページの「投資家情報」をご覧ください。

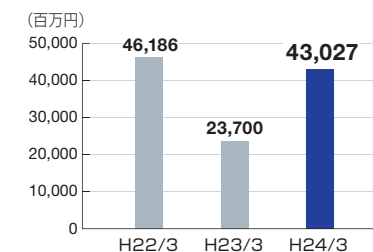
藤商事

検索

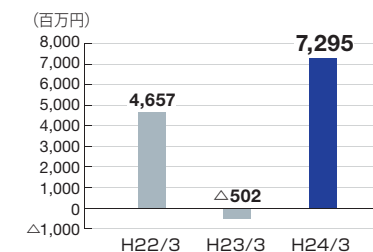
決算のポイント

- 販売台数を順調に伸ばし、売上高が対前年同期比81.5%増加。
- 売上高の増加に伴い、各利益が大幅に伸長。

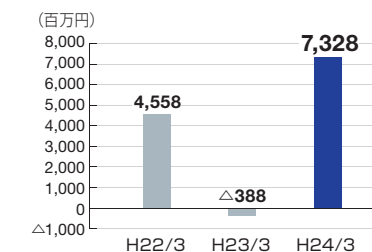
売上高



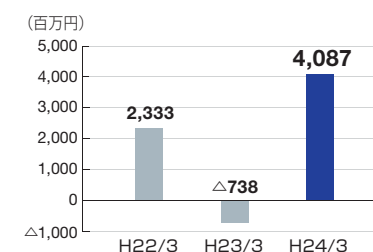
営業利益



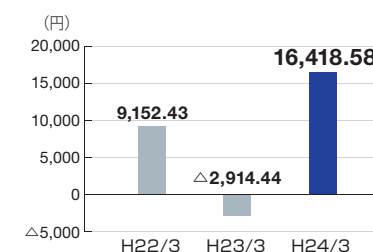
経常利益



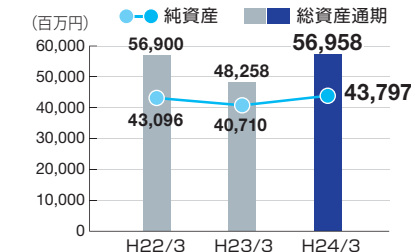
当期純利益



1株当たり当期純利益



純資産/総資産



貸借対照表

単位:百万円

科目	平成24年3月期 (H24.3.31現在)	平成23年3月期 (H23.3.31現在)
資産の部		
流動資産	44,534	35,987
固定資産	12,423	12,270
有形固定資産	7,270	7,839
無形固定資産	179	211
投資その他の資産	4,973	4,219
資産合計	56,958	48,258
負債の部		
流動負債	11,707	6,070
固定負債	1,453	1,476
負債合計	13,160	7,547
純資産の部		
株主資本	43,683	40,716
評価・換算差額等	114	△5
純資産合計	43,797	40,710
負債純資産合計	56,958	48,258

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

単位:百万円

科目	平成24年3月期 (H24.3.31)	平成23年3月期 (H23.3.31)
売上高	43,027	23,700
売上原価	22,036	13,175
売上総利益	20,990	10,525
販売費及び一般管理費	13,695	11,027
営業利益又は営業損失(△)	7,295	△502
営業外収益	130	193
営業外費用	97	79
経常利益又は経常損失(△)	7,328	△388
特別利益	182	41
特別損失	85	240
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	7,425	△587
法人税、住民税及び事業税等	3,420	82
法人税等調整額	△81	67
当期純利益又は当期純損失(△)	4,087	△738

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

科目	平成24年3月期 (H24.3.31)	平成23年3月期 (H23.3.31)
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,591	△2,939
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,406	△1,148
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,119	△1,636
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	8,065	△5,724
現金及び現金同等物の期首残高	20,674	26,398
現金及び現金同等物の期末残高	28,740	20,674

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

平成25年3月期業績予想

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
第2四半期(累計)	26,300	19.3	3,700	△16.7	3,700	△17.6
通期	49,200	14.3	7,600	4.2	7,600	3.7
	当期純利益		1株当たり当期純利益		年間配当金	
第2四半期(累計)	2,200	△17.4	8,836.94	円	2,500.00	円
通期	4,600	12.5	18,477.23	円	(合計) 5,000.00	円

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

会社概要・株式の状況 (平成24年3月31日現在)

会社概要

設立 昭和41年10月1日
本社 大阪市中央区内本町一丁目1番4号
従業員数 387名
事業内容 パチンコ遊技機・パチスロ遊技機の開発、
製造、販売

役員

代表取締役社長 松 元 邦 夫
取締役副社長 松 元 正 夫
専務取締役 井 上 孝 司
常務取締役 辻 田 隆
取締役 羽 山 敏 隆
取締役 米 田 勝 己
取締役 渡 辺 勝 治
社外取締役 坪 本 浩 一郎
社外取締役 川 添 嗣 夫
常勤監査役(社外) 川 西 耕 司
監査役 近 藤 邦 博
社外監査役 堀 弘 二

事業所

名古屋事業所 (名古屋工場および開発部)

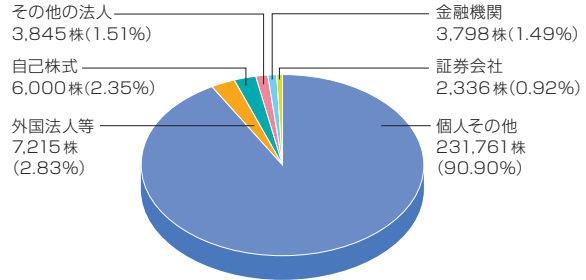
東京開発事業所

東京支店	横浜営業所	広島営業所
大阪支店	八王子営業所	高松営業所
札幌営業所	静岡営業所	福岡営業所
青森営業所	名古屋営業所	熊本営業所
仙台営業所	金沢営業所	鹿児島営業所
千葉営業所	京都営業所	
埼玉営業所	神戸営業所	

株式の状況

1) 発行可能株式総数 800,000株
2) 発行済株式の総数 254,955株
(自己株式6,000株を含む)
3) 株主数 6,276名

所有者別株主分布



4) 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
松元 邦夫	95,560	38.38
松元 正夫	65,626	26.36
釣谷 香揚子	24,280	9.75
吉田 嘉明	4,696	1.89
藤商事従業員持株会	2,702	1.09
松元 恵子	2,600	1.04
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,468	0.59
MELLON BANK TREATY CLIENTS OMNIBUS	1,456	0.58
野村證券株式会社	1,167	0.47
ティーツー・キャピタル株式会社	1,000	0.40

(注) 1. 当社は、自己株式を6,000株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日
その他必要がある時は、予め公告して定めた日

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 ☎ 0120-176-417

ホームページ <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

公告方法 当社のホームページに掲載致します。
(<http://www.fujimarukun.co.jp>)
ただし、事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載致します。